

Title	山本晶教授略年譜・主要業績
Sub Title	Biography and selected publications of Shoh Yamamoto
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1998
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.75, (1998. 12) ,p.373(8)- 380(1)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	山本晶教授退任記念論文集
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00750001-0380">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00750001-0380</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

山本晶教授 略年譜・主要業績

## 略年譜

- 昭和9年 1月22日(月)、東京市芝区芝公園の済生会産院に生まれる
- 昭和21年 3月、東京都千代田区立永田町小学校を卒業〔戦時中、山梨県河口湖畔に1年余り「学童疎開」をした〕
- 昭和24年 3月、東京都千代田区立麴町中学校を卒業〔焼跡時代つづく〕
- 昭和30年 3月、東京都立日比谷高等学校を卒業〔大学を受験せず働く〕
- 昭和32年 4月、慶應義塾大学文学部に入学〔従前通り労働を続ける〕
- 昭和36年 3月、同大学文学部文学科イギリス文学専攻を卒業
- 昭和36年 4月、同大学文学研究科イギリス文学専攻修士課程に入学
- 昭和38年 3月、同修士課程を修了
- 昭和38年 4月、慶應義塾に就職、大学文学部助手(語学担当)となる
- 昭和43年 4月、専任講師となる
- 昭和45年 9月、米国シカゴ大学、次いでコロンビア大学の訪問研究員として留学(福澤諭吉記念学事振興基金により1年間)
- 昭和46年 10月、助教授となる
- 昭和47年 4月、文学科英米文学専攻に移籍
- 昭和53年 4月、教授となる〔現在に至る〕
- 昭和56年 4月、文学研究科委員となる〔現在に至る〕
- 平成元年 11月、文部省教科用図書(英語)検定調査審議会委員となる
- 平成8年 5月、同委員を満期(4期)退任
- 平成11年 3月、慶應義塾を停年(65歳)退職〔予定〕

〈付記〉 高校、大学は学業のかたわら英国ロイター通信社東京支局で働いて卒業した。慶應義塾に在職中は次の諸校に兼任講師として出講した。立教大学、早稲田大学、津田塾大学、和洋女子大学、東京農工大学、東京外国語大学、洗足学園魚津短期大学(集中講義)、秋田大学(集中講義)、東電学園大学部、東京都済生会高等看護学院。

## 主要業績

### 論文

「古英語散文の語順」, 『藝文研究』(慶應義塾大学藝文学会) 第17号(昭和39年2月), 74-88頁。

「『白鯨』の一解釈」, 『藝文研究』(慶應義塾大学藝文学会) 第25号分冊1(昭和43年4月), 185-99頁。

「『ベニト・セレノ』の出典と構造」, 『英文學研究』(日本英文学会) 第49巻第1号(昭和47年11月), 43-54頁。

「アメリカの夢」, 『藝文研究』(慶應義塾大学藝文学会) 第40号(昭和55年9月), 109-26頁。

「サロウ(ソーロウ)を読む」, 大橋吉之輔編『アメリカ文学読本』, 有斐閣選書, 有斐閣, 昭和57年3月, 55-70頁。

「メルヴィルとアメリカ」, 大橋健三郎編『鯨とテキスト——メルヴィルの世界』, 国書刊行会, 昭和58年11月, 42-67頁。

“The Structure and Meaning of Hemingway’s Macomber Story.”  
*Poetica: An International Journal of Linguistic-Literary Studies*  
(Shubun International) 23 (1986): 88-115. [英文]

「ホーソーン, メルヴィル, ホイットマンの世界」, 浜野成生編『アメリカ文学と時代変貌』, 研究社出版, 平成元年4月, 58-83頁。

「イシュマイルの航海日程——『白鯨』に暦法を探る」, 『藝文研究』(慶應義塾大学藝文学会) 第58号(平成2年11月), 95-111頁。

「現代のアンチテーゼ——米文学にみるアーミシュの生き方」, 『藝文研究』(慶應義塾大学藝文学会) 第67号(平成7年3月), 289-316頁。

「現代のアンチテーゼ——米文学にみるアーミシュの生き方(補遺)」, 『藝文研究』(慶應義塾大学藝文学会) 第70号(平成8年6月), 209-26頁。

「『ウォールデン』第2章の諸問題」, 『ヘンリー・ソロー研究論集』(日本

ソロー学会) 第23号 (平成9年5月), 1-12頁。

「仕掛けられた意識の檻——ハーマン・メルヴィルの「ベニト・セレノ」解剖所見」, 巽孝之・渡部桃子編『物語のゆらめき——アメリカン・ナラティブの意識史』, 南雲堂, 平成10年4月, 62-98, 281-84頁。

## 口頭発表

「Another Reading of *Moby-Dick*」, 日本アメリカ文学会全国大会, 昭和41年10月, 於東北学院大学。

「“Benito Cereno” の出典と構造」, 日本英文学会全国大会, 昭和47年5月, 於慶應義塾大学。

「スタイロンの弁明——新作 *Sophie's Choice* 管見」, 日本アメリカ文学会東京支部月例会, 昭和54年11月, 於慶應義塾大学。

「メルヴィルの同時代性」, 日本ナサニエル・ホーソーン協会東京支部月例会, 昭和59年12月, 於専修大学。

「時空の諸相——ホーソーン, メルヴィル, ポウ, ソロー, ホイットマン」シンポジウム司会・講師, 日本ナサニエル・ホーソーン協会全国大会, 平成8年5月, 於立教大学。

「『ウォールデン』第2章の諸問題」, 日本ソロー学会秋季全国大会, 平成8年10月, 於札幌大学。

## 記事

「短編集『卵の勝利』」, 大橋吉之輔編『シャーウッド・アンダソン』, 20世紀英米文学案内, 研究社出版, 昭和43年8月, 119-32頁。[標記短編集に所収の5編を解説・分析]

「ホーソーン的同时代性——短編「あざ」を中心に」, 『英語青年』(研究社出版) 昭和59年2月号, 13-15頁。

「メルヴィルの酒タバコ観」, 『英語青年』(研究社出版) 平成3年12月号, 特集「メルヴィル没後100年」, 8-9頁。

「降誕祭の寓喩——アメリカとキリスト教」, 『三色旗』(慶應義塾大学出版

会) 平成7年12月号, 特集「キリスト教と西洋文化」, 10-13頁。  
「英語の学び方」, 『学習のすすめ』, 慶應義塾大学出版会, 平成8年4月,  
170-87頁。[旧版/昭和61年6月, 124-31頁。もと『三色旗』昭和61  
年1月号に掲載。新版は旧版を大幅に改稿]

## 書評

[R. L. White, ed. *Sherwood Anderson's Memoirs : A Critical Edition*],  
『英文學研究』(日本英文学会) 第47巻2号(昭和46年3月), 293-300  
頁。

「曾我部学『ハーマン・メルヴィル研究』」, 『英語青年』(研究社出版) 昭  
和47年8月号, 49頁。

「渡辺正雄編『アメリカ文学における科学思想』」, 『英語青年』(研究社出  
版) 昭和49年6月号, 47頁。

「*Theodore Dreiser : The Critical Reception*」, 『英語青年』(研究社出  
版) 昭和49年12月号, 35頁。

「ウェントワース/フレックスナー共編『アメリカ俗語辞典』(第2補遺  
版)」, 『學鐙』(丸善) 昭和51年1月号, 56頁。

「S. B. フレックスナー『わたしはアメリカが語るのを聞く』」, 『學鐙』(丸  
善) 昭和52年1月号, 55頁。

「アメリカ古典文庫 [本間長世編]『ヨーロッパ人のアメリカ論』」, 『英語  
青年』(研究社出版) 昭和52年5月号, 32頁。

「元田脩一『アメリカ小説研究』」, 『英語青年』(研究社出版) 昭和53年5  
月号, 41-42頁。

「若者の案内書『森の生活』/Leonard N. Neufeldt : *Henry Thoreau and  
Enterprise*」, 『英語青年』(研究社出版) 平成元年12月号, 36頁。

## エッセイ

「ジレンマへのいざない」, 『三色旗』(慶應義塾大学出版会) 昭和48年10月  
号, 22-25頁。

- 「言葉のインフレ」, 『室内』(工作社) 昭和57年6月号, 138頁。
- 「アメリカ文学の楽しみ」, 『三色旗』(慶應義塾大学出版会) 昭和63年3月号, 6-9頁。
- 「ユニークな癖」, 『三田文学』(三田文学会) 昭和65年[8月]夏季号, 16-17頁。
- 「サラダ・ボウル考」, 『雑志』(慶應通信雑誌会) 第13号(平成元年7月), 68-73頁。
- 「八月の狂詩曲」, 『三色旗』(慶應義塾大学出版会) 平成3年8月号, 巻頭エッセイ, 1頁。
- 「女は武装する——アメリカ銃砲事情」, 『もぐさ』(東電学園大学部) 第45号(平成5年3月), 4-7頁。
- 「知らぬがほとけ——続アメリカ銃砲事情」, 『もぐさ』(東電学園大学部) 第50号(平成7年9月), 1-6頁。

## 翻 訳

- テリー・サザン「南部の夏の牧歌」, 『海』(中央公論社) 昭和45年1月号, 特集「現代アメリカ短編」, 166-77頁。
- ピーター・テイラー「マンシーばあさん」, 大橋吉之輔編『現代アメリカ短編選集』第1巻, 白水社, 昭和45年6月, 85-107頁。
- テネシー・ウィリアムズ「追憶の夏」, 同上, 123-58頁。
- ルース・アドラー『ニューヨーク・タイムズの一日』, 平凡社, 昭和48年9月。全316頁。
- ウィリアム・フォークナー「駒さばき」, 「フォークナー全集」第18巻, 富山房, 昭和53年8月。全328頁。
- ジョージ・スタイナー対談「文化の〈アイデンティティ〉を求めて」, 山口昌男『二十世紀の知的冒険』, 岩波書店, 昭和55年4月, 307-21頁。
- [初出/池田弥三郎ほか編『文学と人間の言語——日本におけるG・スタイナー』, 三田文学ライブラリー, 昭和49年10月, 80-95頁]
- チャールズ・G・クリーバー「慶應のアメリカ講座」, 『三田評論』(慶應

義塾) 昭和55年10月号, 62-66頁。

ジョン・セイウェル「慶應のカナダ講座」, 『三田評論』(慶應義塾) 昭和56年2月号, 80-82頁。

## 書 評

“A Bibliography of Saul Bellow,” 『アメリカ文学研究』(日本アメリカ文学学会) 第3号(昭和41年10月), 85-96頁。[英文]

『総説アメリカ文学史／資料編』, 研究社出版, 昭和54年3月。1-116頁。  
[斎藤光と共編]

『書誌』, 大橋吉之輔編『シャーウッド・アンダソン』, 研究社出版, 昭和43年8月, 215-39頁。[大橋吉之輔と共編]

『アメリカ文学』, 『藝文研究／文献案内』, 慶應義塾大学藝文学会, 昭和61年7月, 51-57頁。[改訂版(平成5年7月)は巽孝之と共編]

## 教科書

James Baldwin: *Nobody Knows My Name*. 駿河台出版社, 昭和39年8月。

Saunders Redding: *On Being Negro in America*. 駿河台出版社, 昭和40年3月。[注も英文]

Erskine Caldwell: *Around About America*. 金星堂, 昭和41年4月。

Erskine Caldwell: *In Search of Bisco*. 金星堂, 昭和42年4月。

B. V. Crawford et al: *American Literature*. 金星堂, 昭和43年4月。[原著(1963)を増補改訂, 英文]

Oscar Handlin: *The American People*. 金星堂, 昭和45年4月。

*Three Love Stories*. 金星堂, 昭和47年11月。[収録作品／Faulkner: “A Rose for Emily,” Steinbeck: “The Murder,” Hemingway: “The Short Happy Life of Francis Macomber.”]

*The Golden Day of American Literature*. 慶應義塾大学出版会, 昭和51年3月。[池田孝一と共編。収録作品／Emerson: “Nature,” Thoreau:



“Where I Lived and What I Lived For,” Whitman: “Crossing Brooklyn Ferry,” Poe: “The Raven,” Hawthorne: “Young Goodman Brown,” Melville: “The Sermon.”]

*American Dreams & Fantasies*. 金星堂, 昭和51年12月。[収録作品／William Saroyan: “The Summer of the Beautiful White Horse,” Dorothy Parker: “The Standard of Living,” Tennessee Williams: “The Field of Blue Children,” Ray Bradbury: “February 1999: Ylla,” Truman Capote: “Miriam.”]

## 編集

*American Literature in the 1940s*. 日本アメリカ文学会東京支部, 昭和51年(日付なし)。編集主幹・大橋健三郎, 編集委員14名(含山本)。  
[フルブライト基金による共同研究, 第1巻, 英文]

*American Literature in the 1950s*. 日本アメリカ文学会東京支部, 昭和52年(日付なし)。  
[同, 第2巻]

*The Traditional and the Anti-traditional: Studies in Contemporary American Literature*. 日本アメリカ文学会東京支部, 昭和55年(日付なし)。  
[同, 第3巻]

## ラジオ放送

Arnold Toynbee: *A Study of History*. NHK 大学講座「英語」, 昭和49年7月から9月まで39回。テキスト, 日本放送出版, 昭和49年4月, 87-168頁。

Oscar Handlin: *The American People*. NHK 大学講座「英語」, 昭和50年4月から6月まで39回。テキスト, 日本放送出版, 昭和50年4月, 6-81頁。

Herman Melville: *Moby-Dick*. NHK「原書で読む世界の名作」, 昭和61年4月から9月まで26回。テキスト, ペンギン・クラシックス版。  
朗読・Thomas Grange, 抜粋／解説・山本品。